

令和7年度 第3回 平塚市介護保険運営協議会 会議録

令和8年3月26日(木) 午後1時30分から午後3時まで  
平塚市役所本館 619会議室

出席者

(委員)

黄海委員、山梨委員、五味委員、内田委員、小宮山委員、樽本委員、  
内藤委員、岩崎委員、船水委員、児玉委員、柳川委員(11名出席)

(事務局)

田中福祉部長

高齢福祉課：大木課長

地域包括ケア推進課：五島課長 清田課長代理 鈴木課長代理

介護保険課：柏木課長 笹井課長代理 高橋課長代理 仲川主管

山本主査 宮田主査 内田主査 糸賀主事補

議事要旨

議事に入る前の報告事項

過半数の委員が出席しており、平塚市介護保険運営協議会規則第3条第2項により会議は成立。また、傍聴者はなし。

第2回運営協議会での質問について、回答

【委員より質問】 要介護認定者のうち介護サービスを使っていない方の人数・割合、要介護認定申請があった際の、結果を出すまでの1件あたりの費用について、正確な数値・金額の把握が必要であると考えます。

【事務局】 介護サービスを使っていない方の人数・割合は、R7.3時点で要介護認定者数13,715人中2,770人で20.2%であること、要介護認定申請があった際の結果

を出すまでの1件あたりの費用が15,295円であることを報告。

報告1 令和7年度介護保険事業の施行状況

資料1に沿って、令和7年度介護保険事業の施行状況について、事務局から説明。

質疑応答 なし

報告2 令和8年度介護保険事業特別会計予算

資料2に沿って、令和8年度介護保険事業特別会計予算について、事務局から説明。

質疑応答 なし

報告3 令和7年度保険者機能強化推進交付金及び令和7年度保険者努力支援交付金の評価結果

資料3に沿って、令和7年度保険者機能強化推進交付金及び令和7年度保険者努力支援交付金の評価結果について、事務局から説明。

質疑応答 なし

報告4 令和7年度介護人材確保に係る取組み

資料4に沿って、令和7年度介護人材確保に係る取組みについて、事務局から説明。

質疑応答

【委員】事業者説明会や体験授業での参加者の意見などは集計しているのか。

【事務局】集計している。高浜高校で実施したアンケートの中では、進路を本格的に考え始める前の若い世代の方々に、介護の仕事がどのようなことをしているのか知ってもらえたような回答が多く得られた。

【委員】アンケート結果等を報告に入れてあると分かりやすい。

【委員】周知方法はどのようにしているのか。

【事務局】主にメールなどで配信して周知している。

#### 報告5 介護サービス事業所の指定等

資料5に沿って、介護サービス事業所の指定等について、事務局から説明。

#### 報告6 地域密着型サービス事業所の公募

資料6に沿って、地域密着型サービス事業所の公募について、事務局から説明。

#### 資料5、6についてまとめて質疑応答

【委員】地域密着型老人福祉施設と地域密着型でない老人福祉施設の違いはなにか。

【事務局】地域密着型は定員が29名以下、住民票を平塚に置いている方のみが利用できるものとなっている。

#### 報告7 平塚市高齢者福祉計画（介護保険事業計画〔第10期〕）

資料7に沿って、平塚市高齢者福祉計画（介護保険事業計画〔第10期〕）について、事務局から説明。

質疑応答 なし

#### その他

次回の介護保険運営協議会の開催は、令和8年7月9日（木）を予定している。

#### 協議会終了後の質問

【委員】介護しごとガイドに掲載している事業所は市内事業所のどの程度の比率なのか。

【事務局】

掲載事業所は事業を重複している事業所があるため、一概に比率は出すのは難しいが、全事業所に周知したうえで、掲載の希望の有無を聞き、まとめている。

以上